

こっこめ通信 02 2017 「天気を予測して備える」号

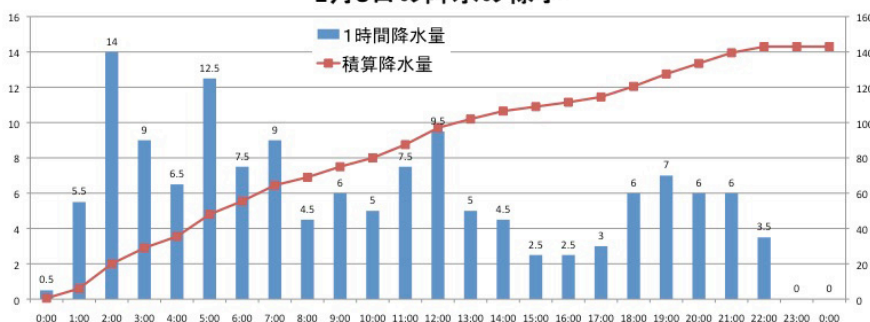
年末年始は、2日の雨を除けば比較的天候が良く、このまま翌週まで荒れないでほしいと島民は思っていたはずですが。それは毎年1月第2週の日曜日はパブリックロードレースが開催される日だからです。今年で36回を迎えるこのレースは年々盛大になり、今年は島外からの参加も含め776名のエントリーがあったそうです。しかし、レース当日の天候は期待に反して…。この後、翌週15日の大寒波のお話とともに紹介します。

さて、今回はそんな「8日の大雨と15日の大寒波」と「八丈富士から富士山を望む」についてのお話です。

8日の大雨と15日の大寒波

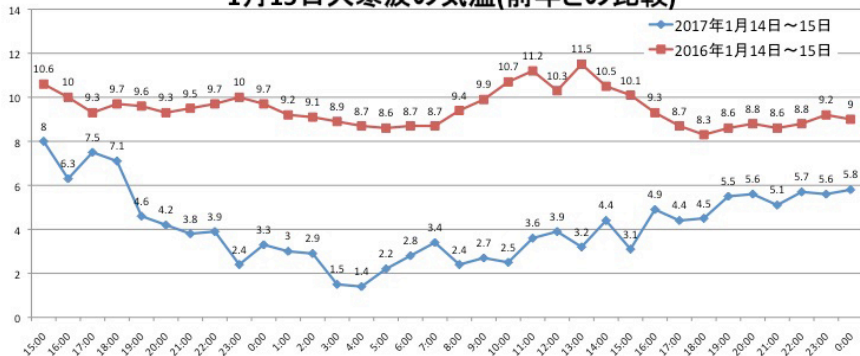
7日から8日にかけて本州の南岸を低気圧が発達しながら通過していきました。八丈島では7日の夜から雨が降り始め、8日には激しい雨と風を伴う暴風になった時間帯もありました。8日のパブリックロードレースは予定通り開催されましたが、厳しい状況でのRUNになってしまったようです。降り続いた雨は142.5mmに達し（右グラフ）、1月の日降水量としては2番目の記録になってしまいました（1番目の記録は1972年1月11日の145.0mm）。気象庁の統計平年値によると、八丈島では1月の降水量が190mmと年間を通して一番少なく、この日の降水量がいかに多かったかが分かります。

1月8日の降水の様子



翌週は南下した大寒波が日本列島をすっぽりと覆い、南は八丈島まで達してしまいました。島も寒気に覆われ、冷たい北西の強風が吹き続け、海は大時化、定期船も14日から3日間欠航、15日の飛行機は雪のため欠航と減多にない欠航理由でした。寒波が一番南下した15日の気温の様子を1年前の15日と比較してみると、どれだけ気温が下がっていたか分かります（右グラフ）。さらに日本海側の若狭湾から関ヶ原、そして伊勢湾を抜けた雪雲が八丈島まで達し、八丈富士や三原山には珍しく雪が積もりました。もちろん山に向かう道路は通行止めです。ビジター周辺も雪雲の移動とともに雪混じりの霰が降り、積もってはあっという間に溶け、また積もっては溶けるを繰り返していました。

1月15日大寒波の気温(前年との比較)



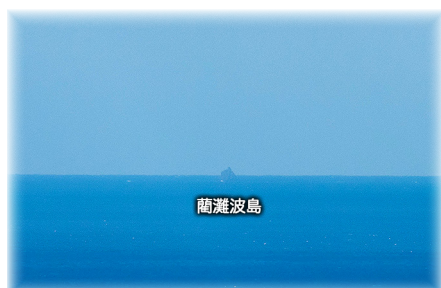
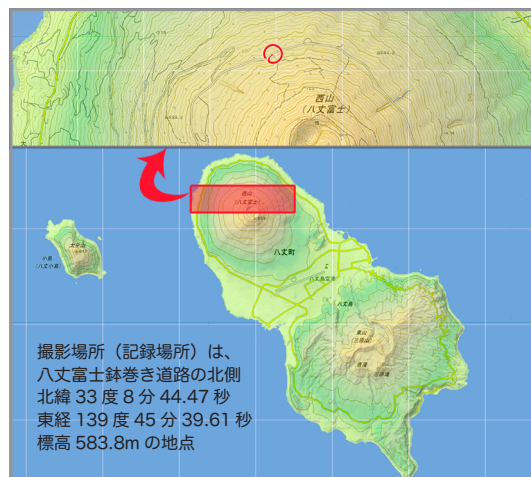
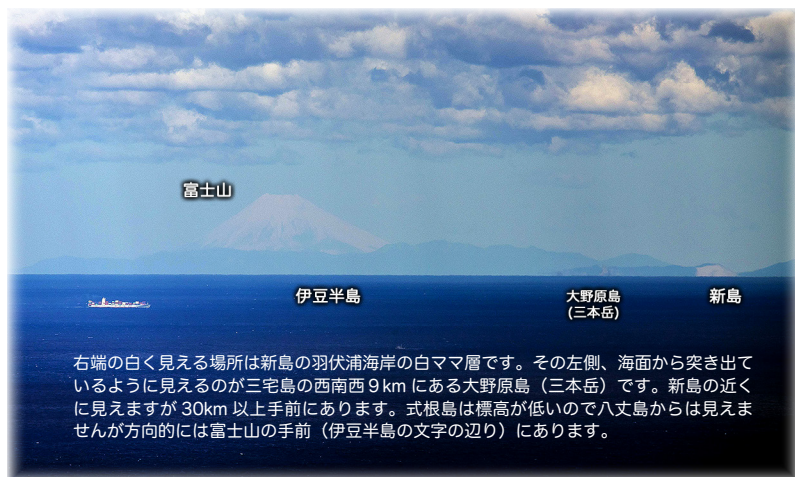
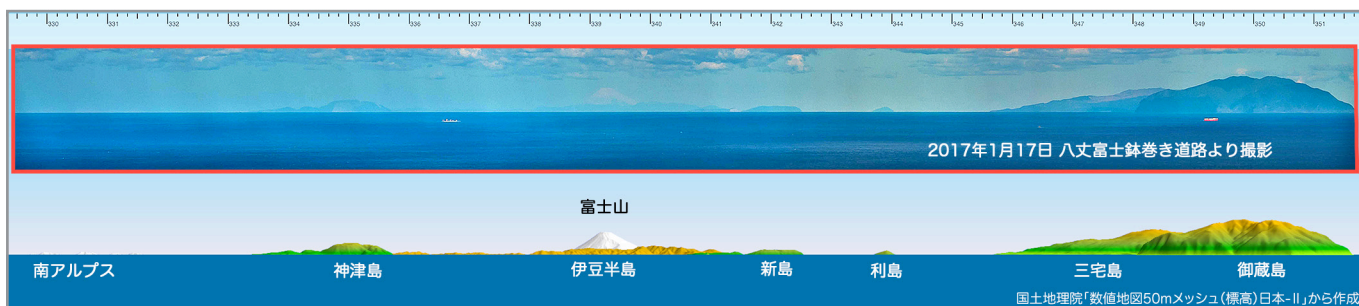
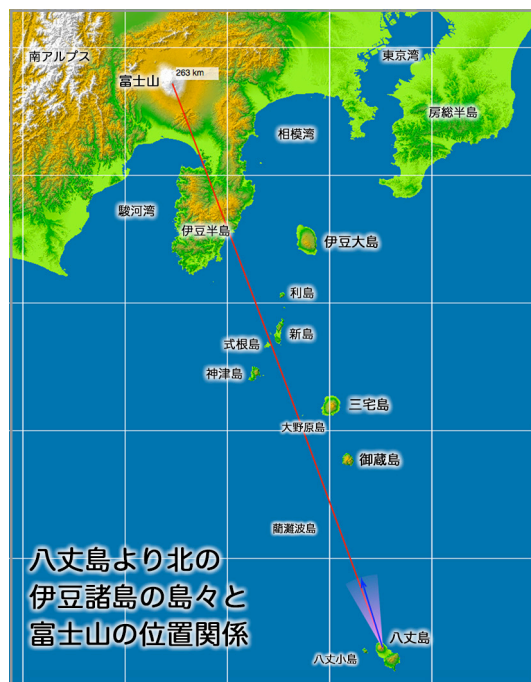
今年は年の初めから天候不順の日が多くて困りますね。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈富士から富士山を望む

大寒波の積雪で2日間通行止めになっていた八丈富士。通行止めが解除になった1月17日、巡回中の八丈支庁職員の方から「すていよ！島がきれいに見えるよ！」と連絡があり八丈富士の鉢巻き道路の北側へ行ってみました。

着いてビックリ！御蔵島と三宅島が見慣れているいつもの姿よりクッキリと見え、航行中の橘丸まで確認できました。そのまま視線を左にずらしていくと雪に覆われた富士山まで見えました。確認できた場所から富士山までの距離は約263km。八丈富士からは、冬場に冷えた空気で覆われ、黒潮が八丈島より南にある時に稀に富士山が見えますが、今回は八丈島より北にあったので見えるとは思いませんでした。黒潮に負けないほどの強い寒気だったのでしょうか。下の撮影した写真と撮影場所から見える展望図を見比べ、右の地図を見るとそれぞれの島と富士山の位置関係が分かります。展望図を作成して南アルプスも見える可能性があることも分かりました。もう少し早い時間に見に行っていたら南アルプスも見えていたかもしれませんね。



御蔵島の南西約35kmにある蘭瀬波島(写真左)は海から突き出た無人島です。神津島(写真中)は中央の白く見える辺りが多幸湾ですね。御蔵島と三宅島(写真右)は重なって見え、左側の奥が三宅島です。この4つの島々は冬場以外でも、天気の良い時に見ることがあります。ぜひ見に行ってみてください！

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。1月8日は悪天候のため中止、翌9日にスタッフが調査を行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 29 年第 1 回）調査者：VC 菊池、VC 木下

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本			シダ植物		
1	アオスゲ	実	1	アオキ	実と実の虫こぶ	1	アラゲヒメワラビ	
2	アオツツラフジ	熟した実	2	イヌビワ	実	2	イシカグマ	
3	アオノクマタケラン	熟した実	3	オオバヤシャブシ	実	3	イノモトソウ	
4	アシタバ	実	4	オオムラサキシキブ	熟した実	7	オオイタチシダ	
5	アツバスミレ	花	5	ガクアジサイ	実	8	オオタニワタリ	
6	イソギク	実	6	カラスザンショウ	実	9	オニヤブソテツ	
7	イワニガナ	花	7	キツタ	若い実	10	カニクサ	
8	ウスベニニガナ	花と実	8	シマクサギ	実が残る	11	シチトウハナワラビ	栄養葉だけ
9	オオシマカンスゲ	蕾	9	シマモクセイ	若い実	12	タチクラマゴケ	紅葉
10	オニタビラコ	花と実	10	スイカズラ	実と狂い咲き	13	タチシノブ	栄養葉だけ
11	カヤツリグサ	実	11	スダジイ	はじけた虫こぶ	14	タマシダ	
12	コセンダングサ	実	12	タイミンタチバナ	花芽	15	ナチシケシダ	
13	コナスビ	花	13	テイカカズラ	実が残る	16	ナンカイイタシシダ	
14	コマツヨイグサ	花	14	トベラ	実が残る	17	ノキシノブ	
15	シマテンナンショウ	花	15	ハゼノキ	紅葉と実	18	ハチジョウカナワラビ	
16	チヂミザサ	実	16	ヒサカキ	蕾	19	ハチジョウシダ	
17	ツルソバ	花と実	17	ヒメユズリハ	実が残る	20	ヒトツバ	
18	ツワブキ	咲終わり	18	ホウライカズラ	実の虫こぶ	21	ホシダ	
19	ナキリスゲ	実	19	ホルトノキ	実が残る	22	マツバラソ	熟した孢子嚢群
20	ノコンギク	実	20	マサキ	実	23	マメヅタ	
21	ノジスミレの仲間	花	21	マンリョウ	熟した実	24	ヤマイタチシダ	新しい場所
22	ハハコグサ	花	22	モチノキ	実と蕾	今回はシダ植物 24 種を含む 77 種の植物を観察しました。樹木の冬芽や越冬草のロゼットが目立ち、春を迎える準備は整っているようです。		
23	ハルジオン	咲き始め	23	ヤブツバキ	花			
24	ヒナギキョウ	実						
25	ヒメクグ	実						
26	フウトウカズラ	熟した実						
27	ヘクソカズラ	実が残る						
28	ホソバツルメヒシバ	実						
29	ホトケノザ	蕾						
30	ヤクシソウ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、冬に渡ってくる「オオセグロカモメ」にスポットを当ててみたいと思います。



オオセグロカモメ

Larus schistisagus

カモメ科の鳥。カムチャッカから北海道や東北の北部で繁殖し、冬季は全国で見られます。

八丈島では 12 月頃から 2 月頃まで滞在しますが、幼鳥がほとんどで成鳥は稀です。島でよく見られるウミネコよりも体が大きく、幼鳥は嘴が黒く、模様は個体差があります。成鳥は翼上面が暗灰色、嘴は黄色く赤い斑があります。

2017 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 特別行事があります		1 08:08 01:28 19:45 13:57	2 08:39 02:04 20:37 14:45	3 09:12 02:41 21:45 15:43	● 立春 4 ガイドウォーク 09:51 03:23 23:31 16:56
5 ガイドウォーク 04:18 18:25 10:43	6 01:59 06:02 12:04 19:48	7 03:33 08:16 13:34 20:53	8 04:23 09:33 14:45 21:45	9 05:01 10:22 15:40 22:30	10 05:34 11:00 16:28 23:09	○ 11 ガイドウォーク 講演会 「西之島☆噴火始末記」 06:04 11:35 17:10 23:45
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06:31 12:07 17:50	13 06:56 00:18 18:27 12:39	14 07:20 00:48 19:04 13:11	15 07:42 01:17 19:41 13:44	16 08:06 01:45 20:22 14:21	17 08:30 02:12 21:11 15:04	雨水 18 ガイドウォーク 08:58 02:41 22:26 16:00
☾ 19 ガイドウォーク 03:13 17:19 09:33	20 00:54 04:05 10:26 18:56	21 03:08 06:44 12:12 20:13	22 03:51 08:46 13:47 21:05	23 04:21 09:37 14:48 21:45	24 04:47 10:12 15:35 22:21	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「大賀郷園地散歩」 05:13 10:43 16:17 22:56
● 26 ガイドウォーク 05:40 11:14 16:57 23:29	27 06:07 11:47 17:38	28 06:35 00:03 18:19 12:21				

イベントプログラム

講演会 「西之島☆噴火始末記」	噴火後初めて西之島に上陸した気鋭の研究者（森林総合研究所の川上和人氏）がお話しします。 2/11（19:30～ 約1時間半） ビジターセンターにて 小学生以上（小学生は保護者同伴・未就学児同伴不可） 参加費：無料 定員：55名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 2/12（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名
八丈学講座 「大賀郷園地散歩」	毎月行っている八丈学講座。大賀郷園地周辺で芽吹き始めた植物などの春を探します。 2/25（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2017.2.1 第189号
開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

今回、富士山までの展望図を作成していて、三原山側の三原林道、登龍展望台、三原山稜線からも富士山が見えることが分かりました。その距離271km！ 次回、大寒波がやってきた時にはぜひ撮影に挑戦したいと思います。問題は寒さに耐えられるかですが…。(高)